



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成28年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 富士フイルムホールディングス株式会社
 コード番号 4901 URL <http://www.fujifilmholdings.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 助野 健児

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 コーポレートコミュニケーションス室長 (氏名) 吉澤 ちさと

TEL 03-6271-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,120,937	△8.6	63,472	△21.3	60,600	△28.4	33,544	△28.5
28年3月期第2四半期	1,226,064	3.6	80,671	12.7	84,599	11.6	46,946	15.8

(注) 四半期包括利益 29年3月期第2四半期 △81,386百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 23,126百万円 (△76.3%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	74.67	74.41
28年3月期第2四半期	98.84	98.52

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,174,725	2,156,724	1,935,609	61.0
28年3月期	3,363,674	2,283,832	2,054,453	61.1

(注) 資本合計(純資産)は、P.8の連結貸借対照表の純資産合計を読み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
29年3月期	—	35.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	2,400,000	△3.7	192,000	0.4	192,000	△1.3	112,000	△9.2	252.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、平成28年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	514,625,728 株	28年3月期	514,625,728 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	71,076,524 株	28年3月期	64,128,303 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	449,232,781 株	28年3月期2Q	474,975,071 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

[目次]

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	経営成績に関する説明	P. 2
(2)	財政状態に関する説明	P. 5
(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 6
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 6
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3)	会計方針の変更	P. 6
3.	継続企業の前提に関する重要事象等	P. 6
4.	四半期連結財務諸表	P. 7
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 7
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
	(四半期連結損益計算書)	P. 9
	【第2四半期連結累計期間】	P. 9
	【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】	P. 10
	(四半期連結包括利益計算書)	P. 11
	【第2四半期連結累計期間】	P. 11
	【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】	P. 11
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(4)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 13
	(継続企業の前提に関する注記)	P. 13
	(セグメント情報等)	P. 13
1)	第2四半期連結累計期間	P. 13
2)	第2四半期連結会計期間(3ヶ月)	P. 15
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：億円)

	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計		平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計		増減額	増減率
国内売上高	42.0%	4,702	39.0%	4,780	△78	△1.6%
海外売上高	58.0%	6,507	61.0%	7,481	△974	△13.0%
売上高	100.0%	11,209	100.0%	12,261	△1,052	△8.6%
営業利益	5.7%	635	6.6%	807	△172	△21.3%
税金等調整前四半期純利益	5.4%	606	6.9%	846	△240	△28.4%
当社株主帰属四半期純利益	3.0%	335	3.8%	469	△134	△28.5%
為替レート (円/米\$)		105 円		122 円	△17 円	
為替レート (円/Euro)		118 円		135 円	△17 円	

(注) 表紙の「税引前四半期純利益」及び「当社株主に帰属する四半期純利益」を、「税金等調整前四半期純利益」及び「当社株主帰属四半期純利益」に、それぞれ読み替えております。

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 28 年 4 月 1 日～9 月 30 日) の世界経済を概観すると、アジア新興国や資源国などにおいて弱さがみられたものの、全体として緩やかな回復基調が継続しました。米国の景気は、個人消費を中心に回復が続きました。欧州では、英国で景気の回復が続いたことに加え、ユーロ圏の景気も緩やかな回復が続きました。中国の景気は緩やかに減速、アジア全体でも弱い動きとなりました。日本の景気は、雇用・所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。

当社グループは平成 26 年 11 月に策定した中期経営計画「VISION2016」(平成 27 年 3 月期～平成 29 年 3 月期)に基づき、「ヘルスケア」「高機能材料」「ドキュメント」の 3 事業分野を成長ドライバーとし、拡販活動や新製品の市場投入により、売上、シェア及び利益の拡大に向けた取り組みを加速しています。また、その他の事業においてもビジネス規模と市場での優位性を維持するとともに、あらゆる企業活動において生産性向上と効率化を進め、全事業における収益性向上に向け、全社一丸となり邁進しています。

当社グループの平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間における連結売上高は、フラットパネルディスプレイ材料事業、電子材料事業などで売上を伸ばしたものの、為替の円高によるマイナス影響 (989 億円) などにより、11,209 億円 (前年同期比 8.6%減) となりました。

営業利益は、各事業において収益性の改善を進めたものの、為替の円高によるマイナス影響 (233 億円) などにより、635 億円 (前年同期比 21.3%減) となりました。営業外収益及び費用では投資有価証券売却益 (40 億円) を計上しましたが、主に為替差損の影響により、税金等調整前四半期純利益は 606 億円 (前年同期比 28.4%減)、当社株主帰属四半期純利益は 335 億円 (前年同期比 28.5%減) となりました。

当四半期の円為替レートは、対米ドルで 105 円、対ユーロで 118 円となりました。

【事業セグメント別の売上高】

(単位:億円)

セグメント	平成29年3月期 第2四半期累計	平成28年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	1,532	1,731	△199	△11.5%
インフォメーションソリューション	4,316	4,604	△288	△6.3%
ドキュメントソリューション	5,361	5,926	△565	△9.5%
連結合計	11,209	12,261	△1,052	△8.6%

【事業セグメント別の営業利益(△損失)】

(単位:億円)

セグメント	平成29年3月期 第2四半期累計	平成28年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
イメージングソリューション	89	124	△35	△28.5%
インフォメーションソリューション	327	348	△21	△6.0%
ドキュメントソリューション	369	483	△114	△23.7%
全社費用及び セグメント間取引消去	△150	△148	△2	-
連結合計	635	807	△172	△21.3%

「イメージングソリューション部門」

イメージングソリューション部門の連結売上高は、為替の円高によるマイナス影響(206億円)などにより、1,532億円(前年同期比11.5%減)となりました。

当部門の営業利益は、為替の円高による売上減少などの影響により、89億円(前年同期比28.5%減)となりました。

フォトイメージング事業では、インスタントカメラ“チェキ”シリーズやチェキフィルムなど、撮影したその場で写真プリントが楽しめるインスタントフォトシステムの販売が欧米を中心に好調に推移しました。平成28年7月にスマートフォンで撮影した画像をチェキフィルムに出力できるプリンター“スマホ de チェキ”「instax SHARE SP-2」を発売し、スマートフォンで写真を楽しむユーザーのプリント需要獲得を図っています。また、フォトブックなどの付加価値プリントビジネスも拡大しましたが、為替の円高影響により、売上は減少しました。

光学・電子映像事業の電子映像分野では、「Xシリーズ」史上最高の画質と機動性を実現した「FUJIFILM X-Pro2」に加え、平成28年9月に販売を開始した、高速レスポンス性能、高精度AF性能などを実現した「FUJIFILM X-T2」などフラッグシップモデル及び交換レンズの販売が伸長しましたが、為替の円高影響により、売上は減少しました。光学デバイス分野では、スマートフォン用カメラモジュールの販売縮小などにより、売上が減少しました。他社に先駆けて発売した4Kカメラ対応の放送用ズームレンズは、画質面で高い評価を受けており、ワールドワイドでのシェア拡大を図ります。

「インフォメーションソリューション部門」

インフォメーションソリューション部門の連結売上高は、フラットパネルディスプレイ材料事業や電子材料事業などで売上を伸ばしたものの、為替の円高によるマイナス影響(419億円)などにより、4,316億円(前年同期比6.3%減)となりました。

当部門の営業利益は、為替の円高による売上減少などの影響により、327億円(前年同期比6.0%減)となりました。

メディカルシステム事業では、医療ITなど成長分野での販売が堅調に推移したものの、為替の円高影響などにより、売上は減少しました。X線画像診断分野では、DR方式・カセット型デジタルX線画像診断装置「CALNEO(海外名称:D-EVO)」シリーズなどの販売が好調に推移しました。医療IT分野では、病院内の各診療科のシステムや異なるメーカーの医用画像情報システム(PACS)に保管されている診断画像、各種動画などの多様な診療情報を一元的に管理・保管できる統合アーカイブシステム

「SYNAPSE VNA」の国内での販売を平成28年4月に開始。さらに5月に、従来と比べて画像処理・表示スピードを2倍に高速化し、医師の診断効率の向上に貢献するPACS「SYNAPSE 5」の販売を開始するなど、今まで以上に効率的で、診断に寄与するソリューションの提案を強化しています。内視鏡分野では、高解像度CMOSセンサー搭載のレーザー光源内視鏡システム「LASEREO」や新超音波内視鏡システムなどの販売が堅調に推移しました。超音波診断分野では、平成28年5月に、小型・軽量のタブレットタイプの超音波画像診断装置「SonoSite iViz」の国内での販売を開始し、ラインアップを強化しました。また体外診断（IVD）分野において、平成28年8月に株式会社モノリスを買収し、動物向け検体検査受託サービス事業に参入しました。

医薬品事業では、バイオ医薬品受託製造が堅調に推移したものの、低分子医薬品において後発医薬品の影響を受けたことなどにより、売上は減少しました。研究開発においては、抗がん剤やアルツハイマー型認知症治療薬などのパイプラインの開発を着実に推進しています。

再生医療事業では、iPS細胞の開発・製造の世界的なリーディングカンパニーである米国Cellular Dynamics International, Inc.が、米国国立眼科研究所（National Eye Institute）と、他家iPS細胞を用いた加齢黄斑変性の治療に関する共同研究開発契約を締結しました。さらに、網膜疾患治療の世界的権威であるDr. David Gammと他家iPS細胞を用いた網膜疾患の治療法を開発する新会社を米国に設立しました。今後も、アカデミアや研究機関などとも連携した研究開発を行い、さらなる事業拡大を図っていきます。

ライフサイエンス事業では、UVクリア美容液兼化粧下地「アスタリフト ホワイト パーフェクトUVクリアソリューション」、美白美容液「アスタリフト ホワイト エッセンスインフィルト」及び、平成28年9月にリニューアルした高機能化粧水「アスタリフト モイストローション」の販売が好調に推移し、売上が増加しました。

フラットパネルディスプレイ材料事業では、「WVフィルム」やVA用フィルム、IPS用フィルムの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。液晶テレビ向けの販売を維持しつつ、中小型ハイエンド品向けの拡販を推し進めるとともに、タッチパネル及びバックライト関連など新規分野への展開を積極的に行っていきます。

産業機材事業では、新規事業であるタッチパネル用センサーフィルム「エクスクリア」の販売が好調に推移したものの、為替の円高影響や工業用X線フィルムなど既存事業の販売減少などにより、売上は減少しました。

電子材料事業では、現像液・処理剤などフォトリソ周辺材料の先端製品やCMPスラリーなどの販売が堅調に推移し、売上が増加しました。前年度に連結子会社化した米国溶剤製造販売会社Ultra Pure Solutions, Inc.の幅広い製品ラインアップ、製造設備及び有力顧客基盤も活用し、電子材料事業をさらに拡大していきます。

記録メディア事業では、「BaFe（バリウムフェライト）磁性体」などの独自技術を使用したデータストレージ用磁気テープの販売が堅調に推移したものの、為替の円高影響などにより、売上は前年同期並みとなりました。デジタルデータの増大に伴いデータアーカイブ分野へのBaFe製品の拡販を進めるとともに、アーカイブサービス「d:ternity（ディターニティ）」のさらなる普及によって、ビッグデータ時代の顧客ニーズに確実に対応していきます。

グラフィックシステム事業では、デジタル印刷機器や産業用インクジェットヘッドなどの販売が伸長しましたが、為替の円高影響などにより、売上は減少しました。市場拡大が続くデジタル印刷分野において、軟包装材料用インクジェット印刷機の開発や、外部企業とのアライアンスに基づく付加価値の提供を通じ、事業の拡大を図っていきます。

「ドキュメント ソリューション部門」

ドキュメントソリューション部門の連結売上高は、欧米向け輸出の売上がオフィスプリンター事業を中心に減少したことに加え、為替の円高によるマイナス影響（364億円）などにより、5,361億円（前

年同期比 9.5%減)となりました。

当部門の営業利益は、アジアローカル通貨安によるマイナス影響と欧米向け輸出の減少などにより、369 億円(前年同期比 23.7%減)となりました。

オフィスプロダクト事業は、販売台数が前年並みとなりました。国内においては、モノクロ複合機の販売が好調に推移したものの、カラー複合機は前年度のコンビニエンスストア代替に対する反動などから販売台数が減少しました。アジア・オセアニア地域においては、中国での堅調な成長が牽引しモノクロ複合機、カラー複合機共に販売台数が増加しました。欧米向け輸出においては、販売台数が微減となりました。

オフィスプリンター事業は、販売台数が減少しました。国内及び欧米向け輸出の販売台数が減少しましたが、アジア・オセアニア地域においては、モノクロ機の販売が好調に推移し、販売台数が増加しました。

プロダクションサービス事業は、販売台数が減少しました。アジア・オセアニア地域及び欧米向け輸出の販売台数が減少しましたが、国内では基幹業務出力向けプリンターが好調で販売台数が増加しました。

グローバルサービス事業は、アジアローカル通貨安の影響を受け売上が減少しましたが、国内及びアジア・オセアニア地域ともにマネージド・プリント・サービス(MPS)ビジネスが堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

平成 29 年 3 月期第 2 四半期末は、受取債権の減少などにより、前期末(平成 28 年 3 月 31 日)に比べ、資産合計が 1,890 億円減の 3 兆 1,747 億円となりました。負債は 618 億円減の 1 兆 180 億円となりました。株主資本は円高による為替換算影響などにより、1,189 億円減の 1 兆 9,356 億円となりました。この結果、流動比率は前期末に比べ 4.7 ポイント減の 289.0%、負債比率は前期末と同ポイントの 52.6%、株主資本比率は 0.1 ポイント減の 61.0%となり、資産の流動性及び資本構成の安定性をともに維持しております。

【キャッシュ・フローの状況】

(単位：億円)

	平成 29 年 3 月期 第 2 四半期累計	平成 28 年 3 月期 第 2 四半期累計	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,380	962	418
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336	△917	581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241	△986	745

平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、受取債権の減少などにより、1,380 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の購入などにより、336 億円の支出となりました。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、1,044 億円となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、241 億円の支出となりました。

現金及び現金同等物の平成 29 年 3 月期第 2 四半期末残高は、前期末(平成 28 年 3 月 31 日)に比べ 491 億円増加し、6,500 億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想値の修正)

当社を取り巻く事業環境は、中国をはじめとするアジア新興国などの景気が下振れする懸念に加え、英国の EU 離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりへの懸念から為替相場では円高傾向が続くと想

定されます。日本においても、海外経済の減速を受けて停滞感が強まっています。当社においては、為替の円高影響を受け、売上高が計画を下回って推移しております。また、これにより営業利益も計画を下回っております。

これらの状況を踏まえ、平成29年3月期の通期連結業績予想については、売上高、営業利益、税金等調整前当期純利益、当社株主帰属当期純利益、1株当たり当社株主帰属当期純利益を下方修正いたします。なお、今回の業績予想の前提となる円為替レートは、第3四半期連結会計期間以降、対米ドルで105円、対ユーロ円で115円と想定しております。

	売上高	営業利益	税金等調整前 当期純利益	当社株主帰属 当期純利益	1株当たり 当社株主帰属 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年4月27日発表)	百万円 2,550,000	百万円 220,000	百万円 220,000	百万円 125,000	円 銭 277.47
今回修正予想(B)	2,400,000	192,000	192,000	112,000	252.51
増減額(B-A)	△150,000	△28,000	△28,000	△13,000	△24.96
増減率(%)	△5.9	△12.7	△12.7	△10.4	△9.0
(参考) 前期実績 (平成28年3月期)	2,491,624	191,179	194,529	123,313	264.87

注)「1株当たり当社株主帰属当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、前回発表予想では平成28年3月31日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)を、今回修正予想では平成28年9月30日現在の発行済株式数(自己株式数を除く)をそれぞれ使用しております。

当期の中間配当金は、1株当たり35円といたしました。期末配当金については、1株当たり35円を予定しており、中間配当金と合わせて年間で70円と、前期と比べて5円の増配を予定しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

単位 百万円

科目	期別 平成29年3月期第2四半期 連結会計期間末 平成28年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成28年3月31日現在	増減 (△は減少)
[資産の部]			
流動資産			
現金及び現金同等物	650,055	600,897	49,158
有価証券	7,000	28,012	△ 21,012
受取債権			
営業債権及びリース債権	567,699	658,550	△ 90,851
関連会社等に対する債権	18,136	26,444	△ 8,308
貸倒引当金	△ 19,710	△ 21,107	1,397
	566,125	663,887	△ 97,762
棚卸資産	341,181	352,924	△ 11,743
前払費用及びその他の流動資産	131,367	143,610	△ 12,243
流動資産 合計	1,695,728	1,789,330	△ 93,602
投資及び長期債権			
関連会社等に対する投資及び貸付金	28,062	29,635	△ 1,573
投資有価証券	129,084	144,472	△ 15,388
長期リース債権及びその他の長期債権	157,487	173,269	△ 15,782
貸倒引当金	△ 2,857	△ 3,567	710
投資及び長期債権 合計	311,776	343,809	△ 32,033
有形固定資産			
土地	90,627	91,596	△ 969
建物及び構築物	710,047	717,290	△ 7,243
機械装置及びその他の有形固定資産	1,688,650	1,723,915	△ 35,265
建設仮勘定	25,563	36,526	△ 10,963
	2,514,887	2,569,327	△ 54,440
減価償却累計額	△ 1,999,987	△ 2,035,198	35,211
有形固定資産 合計	514,900	534,129	△ 19,229
その他の資産			
営業権	477,278	506,870	△ 29,592
その他の無形固定資産	77,469	86,249	△ 8,780
その他	97,574	103,287	△ 5,713
その他の資産 合計	652,321	696,406	△ 44,085
資産 合計	3,174,725	3,363,674	△ 188,949

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結会計期間末 平成28年9月30日現在	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 平成28年3月31日現在	増減 (△は減少)
[負債の部]				
流動負債				
社債及び短期借入金		92,123	55,305	36,818
支払債務				
営業債務		206,971	232,073	△ 25,102
設備関係債務		17,444	23,421	△ 5,977
関連会社等に対する債務		3,768	3,834	△ 66
		228,183	259,328	△ 31,145
未払法人税等		15,609	18,469	△ 2,860
未払費用		163,137	183,718	△ 20,581
その他の流動負債		87,713	92,327	△ 4,614
流動負債 合計		586,765	609,147	△ 22,382
固定負債				
社債及び長期借入金		289,794	310,388	△ 20,594
退職給付引当金		55,154	64,756	△ 9,602
預り保証金及びその他の固定負債		86,288	95,551	△ 9,263
固定負債 合計		431,236	470,695	△ 39,459
負債 合計		1,018,001	1,079,842	△ 61,841
[純資産の部]				
株主資本				
資本金		40,363	40,363	-
普通株式				
発行可能株式総数 800,000,000株				
発行済株式総数 514,625,728株				
資本剰余金		76,030	75,780	250
利益剰余金		2,237,671	2,219,651	18,020
その他の包括利益(△損失)累積額		△ 141,809	△ 31,112	△ 110,697
自己株式		△ 276,646	△ 250,229	△ 26,417
株主資本 合計		1,935,609	2,054,453	△ 118,844
非支配持分		221,115	229,379	△ 8,264
純資産 合計		2,156,724	2,283,832	△ 127,108
負債・純資産 合計		3,174,725	3,363,674	△ 188,949

(注)その他の包括利益(△損失)累積額 内訳

	平成28年9月30日現在	平成28年3月31日現在	増減 (△は減少)
有価証券未実現損益	41,631	50,864	△ 9,233
為替換算調整額	△ 75,217	30,223	△ 105,440
年金負債調整額	△ 106,184	△ 109,747	3,563
デリバティブ未実現損益	△ 2,039	△ 2,452	413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別		増減 (△は減少)			
	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	平成28年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	増減額	増減率		
売上高	%	%		%		
売上高	952,569	1,048,367	△ 95,798	△ 9.1		
レンタル収入	168,368	177,697	△ 9,329	△ 5.2		
	100.0	1,120,937	100.0	1,226,064	△ 105,127	△ 8.6
売上原価						
売上原価	604,449	672,742	△ 68,293	△ 10.2		
レンタル原価	71,710	72,697	△ 987	△ 1.4		
	60.3	676,159	60.8	745,439	△ 69,280	△ 9.3
売上総利益	39.7	444,778	39.2	480,625	△ 35,847	△ 7.5
営業費用						
販売費及び一般管理費	26.8	300,348	25.8	317,036	△ 16,688	△ 5.3
研究開発費	7.2	80,958	6.8	82,918	△ 1,960	△ 2.4
	34.0	381,306	32.6	399,954	△ 18,648	△ 4.7
営業利益	5.7	63,472	6.6	80,671	△ 17,199	△ 21.3
営業外収益及び費用(△)						
受取利息及び配当金	2,910	3,598	△ 688			
支払利息	△ 2,010	△ 2,465	455			
為替差損益・純額	△ 7,638	△ 3,014	△ 4,624			
投資有価証券売却損益・純額	3,981	5,623	△ 1,642			
その他損益・純額	△ 115	186	△ 301			
	△ 0.3	△ 2,872	0.3	3,928	△ 6,800	-
税金等調整前四半期純利益	5.4	60,600	6.9	84,599	△ 23,999	△ 28.4
法人税等	1.6	17,911	2.2	27,552	△ 9,641	△ 35.0
持分法による投資損益	△ 0.2	△ 2,356	△ 0.2	△ 1,345	△ 1,011	-
四半期純利益	3.6	40,333	4.5	55,702	△ 15,369	△ 27.6
控除: 非支配持分帰属損益	△ 0.6	△ 6,789	△ 0.7	△ 8,756	1,967	-
当社株主帰属四半期純利益	3.0	33,544	3.8	46,946	△ 13,402	△ 28.5

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結会計期間		平成28年3月期第2四半期 連結会計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日		自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高		%		%			%
売上高		491,754		547,847	△ 56,093	△ 10.2	
レンタル収入		82,170		87,299	△ 5,129	△ 5.9	
		100.0	573,924	100.0	635,146	△ 61,222	△ 9.6
売上原価							
売上原価		312,576		349,572	△ 36,996	△ 10.6	
レンタル原価		35,266		36,767	△ 1,501	△ 4.1	
		60.6	347,842	60.8	386,339	△ 38,497	△ 10.0
売上総利益		39.4	226,082	39.2	248,807	△ 22,725	△ 9.1
営業費用							
販売費及び一般管理費		25.9	148,982	25.6	162,530	△ 13,548	△ 8.3
研究開発費		7.2	41,189	6.6	41,799	△ 610	△ 1.5
		33.1	190,171	32.2	204,329	△ 14,158	△ 6.9
営業利益		6.3	35,911	7.0	44,478	△ 8,567	△ 19.3
営業外収益及び費用(△)							
受取利息及び配当金			879		1,464	△ 585	
支払利息			△ 993		△ 1,414	421	
為替差損益・純額			△ 1,181		△ 4,811	3,630	
投資有価証券売却損益・純額			3,981		△ 3	3,984	
その他損益・純額			287		275	12	
		0.5	2,973	△ 0.7	△ 4,489	7,462	-
税金等調整前四半期純利益		6.8	38,884	6.3	39,989	△ 1,105	△ 2.8
法人税等		1.8	10,457	1.9	12,091	△ 1,634	△ 13.5
持分法による投資損益		△ 0.4	△ 1,749	△ 0.1	△ 468	△ 1,281	-
四半期純利益		4.6	26,678	4.3	27,430	△ 752	△ 2.7
控除:非支配持分帰属損益		△ 0.7	△ 4,288	△ 0.7	△ 4,789	501	-
当社株主帰属四半期純利益		3.9	22,390	3.6	22,641	△ 251	△ 1.1

(四半期連結包括利益計算書)

【第2四半期連結累計期間】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期	平成28年3月期第2四半期	増減 (△は減少)
		連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	
四半期純利益		40,333	55,702	△ 15,369
その他の包括利益(△損失) ー 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		△ 9,317	△ 12,586	3,269
為替換算調整額		△ 116,962	△ 21,463	△ 95,499
年金負債調整額		4,160	1,842	2,318
デリバティブ未実現損益変動額		400	△ 369	769
その他の包括利益(△損失) 合計		△ 121,719	△ 32,576	△ 89,143
四半期包括利益(△損失)		△ 81,386	23,126	△ 104,512
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		4,233	△ 3,807	8,040
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		△ 77,153	19,319	△ 96,472

【第2四半期連結会計期間(3ヶ月)】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期	平成28年3月期第2四半期	増減 (△は減少)
		連結会計期間 自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	連結会計期間 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日	
四半期純利益		26,678	27,430	△ 752
その他の包括利益(△損失) ー 税効果調整後				
有価証券未実現損益変動額		1,654	△ 16,999	18,653
為替換算調整額		△ 15,304	△ 49,477	34,173
年金負債調整額		2,280	673	1,607
デリバティブ未実現損益変動額		431	△ 372	803
その他の包括利益(△損失) 合計		△ 10,939	△ 66,175	55,236
四半期包括利益(△損失)		15,739	△ 38,745	54,484
控除: 非支配持分帰属四半期包括損益		△ 3,317	2,507	△ 5,824
当社株主帰属四半期包括利益(△損失)		12,422	△ 36,238	48,660

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	平成28年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	増減 (△は減少)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 四半期純利益		40,333	55,702	△ 15,369
2. 営業活動により増加した純キャッシュへの調整				
(1) 減価償却費		56,920	57,471	△ 551
(2) 投資有価証券売却損益		△ 3,981	△ 5,623	1,642
(3) 持分法による投資損益(受取配当金控除後)		2,755	1,980	775
(4) 資産及び負債の増減				
受取債権の減少		55,926	43,453	12,473
棚卸資産の増加		△ 10,096	△ 5,487	△ 4,609
営業債務の減少		△ 9,119	△ 20,255	11,136
未払法人税等及びその他負債の減少		△ 18,194	△ 20,401	2,207
(5) その他		23,433	△ 10,601	34,034
小計		97,644	40,537	57,107
営業活動によるキャッシュ・フロー		137,977	96,239	41,738
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有形固定資産の購入		△ 39,296	△ 29,081	△ 10,215
2. ソフトウェアの購入		△ 10,598	△ 12,088	1,490
3. 有価証券・投資有価証券の売却・満期償還		29,711	23,306	6,405
4. 有価証券・投資有価証券の購入		△ 1,478	△ 19,035	17,557
5. 定期預金の増加(△)・減少(純額)		874	△ 951	1,825
6. 関係会社投融資及びその他貸付金の増加		△ 2,479	△ 1,000	△ 1,479
7. 事業の買収 (買収資産に含まれる現金及び現金同等物控除後)		△ 1,334	△ 35,241	33,907
8. その他		△ 8,984	△ 17,630	8,646
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 33,584	△ 91,720	58,136
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 長期債務による調達額		23,963	2,279	21,684
2. 長期債務の返済額		△ 6,056	△ 2,823	△ 3,233
3. 短期債務の増加(純額)		3,359	6,717	△ 3,358
4. 親会社による配当金支払額		△ 14,641	△ 16,878	2,237
5. 非支配持分への配当金支払額		△ 4,023	△ 3,746	△ 277
6. 自己株式の取得(純額)		△ 26,516	△ 84,150	57,634
7. その他		△ 139	-	△ 139
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 24,053	△ 98,601	74,548
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響		△ 31,182	△ 4,346	△ 26,836
V. 現金及び現金同等物純増加・純減少(△)		49,158	△ 98,428	147,586
VI. 現金及び現金同等物期首残高		600,897	726,888	△ 125,991
VII. 現金及び現金同等物四半期末残高		650,055	628,460	21,595

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1) 第2四半期連結累計期間

① 事業別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間		平成28年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
イメージングソリューション :							
外部顧客に対するもの		13.7	153,202	14.1	173,038	△ 19,836	△ 11.5
セグメント間取引			1,302		1,548	△ 246	-
計			154,504		174,586	△ 20,082	△ 11.5
インフォメーションソリューション :							
外部顧客に対するもの		38.5	431,585	37.6	460,414	△ 28,829	△ 6.3
セグメント間取引			687		978	△ 291	-
計			432,272		461,392	△ 29,120	△ 6.3
ドキュメントソリューション :							
外部顧客に対するもの		47.8	536,150	48.3	592,612	△ 56,462	△ 9.5
セグメント間取引			3,826		4,512	△ 686	-
計			539,976		597,124	△ 57,148	△ 9.6
セグメント間取引消去			△ 5,815		△ 7,038	1,223	-
連結 合計		100.0	1,120,937	100.0	1,226,064	△ 105,127	△ 8.6

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間		平成28年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
イメージングソリューション		5.7	8,876	7.1	12,410	△ 3,534	△ 28.5
インフォメーションソリューション		7.6	32,699	7.5	34,777	△ 2,078	△ 6.0
ドキュメントソリューション		6.8	36,889	8.1	48,340	△ 11,451	△ 23.7
計			78,464		95,527	△ 17,063	△ 17.9
全社費用及びセグメント間取引消去			△ 14,992		△ 14,856	△ 136	-
連結 合計		5.7	63,472	6.6	80,671	△ 17,199	△ 21.3

(注) 各区分に属する主要な製品の名称

イメージングソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等

インフォメーションソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等

ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

②所在地別セグメント情報

【売上高】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間		平成28年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高 :		%		%			%
日本 :							
外部顧客に対するもの		50.6	566,898	48.8	598,515	△ 31,617	△ 5.3
セグメント間取引			216,700		222,355	△ 5,655	-
計			783,598		820,870	△ 37,272	△ 4.5
米州 :							
外部顧客に対するもの		17.8	199,812	17.8	217,920	△ 18,108	△ 8.3
セグメント間取引			19,367		23,348	△ 3,981	-
計			219,179		241,268	△ 22,089	△ 9.2
欧州 :							
外部顧客に対するもの		8.3	93,300	8.7	106,826	△ 13,526	△ 12.7
セグメント間取引			7,851		9,834	△ 1,983	-
計			101,151		116,660	△ 15,509	△ 13.3
アジア及びその他 :							
外部顧客に対するもの		23.3	260,927	24.7	302,803	△ 41,876	△ 13.8
セグメント間取引			144,654		168,981	△ 24,327	-
計			405,581		471,784	△ 66,203	△ 14.0
セグメント間取引消去			△ 388,572		△ 424,518	35,946	-
連結 合計		100.0	1,120,937	100.0	1,226,064	△ 105,127	△ 8.6

【営業利益】

単位 百万円

科目	期別	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間		平成28年3月期第2四半期 連結累計期間		増減 (△は減少)	
		自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
営業利益 :		%		%			%
日本		4.2	32,540	4.2	34,766	△ 2,226	△ 6.4
米州		4.1	9,042	3.7	8,976	66	0.7
欧州		1.7	1,751	3.6	4,152	△ 2,401	△ 57.8
アジア及びその他		5.6	22,634	6.6	30,957	△ 8,323	△ 26.9
セグメント間取引消去			△ 2,495		1,820	△ 4,315	-
連結 合計		5.7	63,472	6.6	80,671	△ 17,199	△ 21.3

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成29年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日		平成28年3月期第2四半期 連結累計期間 自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
国内	42.0	470,246	39.0	477,985	△ 7,739	△ 1.6
海外 :						
米州	19.3	216,980	21.1	258,246	△ 41,266	△ 16.0
欧州	11.1	124,496	11.1	136,425	△ 11,929	△ 8.7
アジア及びその他	27.6	309,215	28.8	353,408	△ 44,193	△ 12.5
計	58.0	650,691	61.0	748,079	△ 97,388	△ 13.0
連結 合計	100.0	1,120,937	100.0	1,226,064	△ 105,127	△ 8.6

(注)【海外売上高(仕向地ベース)】は、取引先の所在地により区分し、表示しております。

2) 第2四半期連結会計期間(3ヶ月)

【事業セグメント別売上高】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成29年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日		平成28年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
イメージング ソリューション	13.3	76,532	13.9	88,168	△ 11,636	△ 13.2
インフォメーション ソリューション	39.0	223,773	38.1	242,292	△ 18,519	△ 7.6
ドキュメントソリューション	47.7	273,619	48.0	304,686	△ 31,067	△ 10.2
連結 合計	100.0	573,924	100.0	635,146	△ 61,222	△ 9.6

(注)各区分に属する主要な製品の名称

イメージング ソリューション : カラーフィルム、デジタルカメラ、写真プリント用カラーペーパー・サービス・機器、インスタントフォトシステム、光学デバイス等

インフォメーション ソリューション : メディカルシステム機材、ライフサイエンス製品、医薬品、グラフィックシステム機材、フラットパネルディスプレイ材料、記録メディア、電子材料等

ドキュメントソリューション : オフィス用複写機・複合機、プリンター、プロダクションサービス関連商品、オフィスサービス、用紙、消耗品等

【海外売上高(仕向地ベース)】

単位 百万円

科目	期別		期別		増減 (△は減少)	
	平成29年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日		平成28年3月期第2四半期 連結会計期間 自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日		増減額	増減率
売上高 :	%		%			%
国内	43.3	248,500	39.5	250,962	△ 2,462	△ 1.0
海外 :						
米州	18.9	108,379	20.8	132,140	△ 23,761	△ 18.0
欧州	10.6	60,560	10.3	65,210	△ 4,650	△ 7.1
アジア及びその他	27.2	156,485	29.4	186,834	△ 30,349	△ 16.2
計	56.7	325,424	60.5	384,184	△ 58,760	△ 15.3
連結 合計	100.0	573,924	100.0	635,146	△ 61,222	△ 9.6

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。